

やながわ

議会だより



蒲池校区学童保育所の子どもたち

12月定例会

10月臨時会 新体制スタート	2
補正予算	4
条例改正	5
議決結果	8
やながわのここが聞きたい!	9
柳川の子どもたち・編集後記	16

表紙の「やながわ」私を書きました!

川尻紗希さん
(高校1年)
(大和中出身)





10月臨時議会にて決定！ 新体制がスタート

令和2年10月20日に臨時議会が招集され、議長・副議長の選挙、常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会広報編集特別委員の選任を行い、次のとおり決定しました。

議長・副議長

選挙により決定

議長 藤丸 正勝



副議長 伊藤 法博



総務 常任委員会



委員長 佐々木 創主



副委員長 緒方 寿光

【所管事項】

○総務部、市民部（税務課及び市民課の所管に属する事項）、会計課、大和庁舎、三橋庁舎の所管に属する事項。
○消防本部の所管に属する事項。
○選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項。
○他の常任委員会の所管に属しない事項。



今村 智子



江口 義明



荒木 憲



樽見 哲也



藤丸 正勝



【所管事項】
 ○建設部の所管に属する事項。
 ○産業経済部の所管に属する事項。
 ○農業委員会の所管に属する事項。
 ○水道課、下水道課の所管に属する事項。



副委員長
佐藤 勝広



委員長
三小田 一美

建設経済 常任委員会



諸藤 哲男



河村 好浩



立花 純



菊次 太丸



伊藤 法博

【所管事項】
 ○市民部の（生活環境課及び廃棄物対策課の所管に属する事項）所管に属する事項。
 ○保健福祉部の所管に属する事項。
 ○教育委員会の所管に関する事項。



副委員長
新谷 信次郎



委員長
高田 千壽輝

教育民生 常任委員会



田中 雅美



白谷 義隆



矢ヶ部 広巳



近藤 末治



橋本 憲之

委員長 新谷信次郎
 副委員長 今村 智子
 委員 佐藤 勝広
 菊次 太丸
 高田千壽輝
 緒方 寿光

議会広報編集 特別委員会

委員長 白谷 義隆
 副委員長 緒方 寿光
 委員 伊藤 法博
 立花 純
 佐々木創主
 高田千壽輝
 樽見 哲也
 三小田一美

議会運営 委員会





補正予算

一般会計 歳出 主なもの

5億38330万4千円増

人件費

- ・ 人事院勧告に準じた給与改定等に伴う人件費の減額

△3545万円

特別職、一般職の期末手当(0.05月)引下げ等。

総務費

- ・ 柳川庁舎非常用発電機、消防設備改修に係る経費

3875万円

- ・ 戸籍住民基本台帳費

854万円

マイナンバーカード申請件数増加に対応するための経費。

民生費

- ・ 地域子育て支援拠点施設整備事業費

80万円

有明地域観光物産公園内に建設予定の地域子育て拠点施設の用地部分の分筆登記のための経費。

農林水産業費

- ・ 強い農業、担い手づくり総合支援交付金
- ・ スマート農業推進強化事業費補助金
- ・ スマート農業推進事業費補助金

1406万円

消防費

- ・ 消防自動車購入費(消防団)ポンプ車(第6分団)積載車(第13分団)
- ・ 六合地区河川防災ステーションへの水防倉庫の整備

3110万円

2400万円



教育費

- ・ 市民会館解体に係る解体設計、工損調査に要する経費

2580万円



不要事業の予算減額

- ・ 御花トイレ改修事業
- ・ 柳川おもてなしマラソン大会

△2927万円

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業の予算を減額。

柳川市新型コロナウイルス感染症緊急対策(第7弾)

① 柳川宿泊応援キャンペーン

550万円

令和3年3月1日～8月31日の期間、市内の対象宿泊施設への宿泊者に対し、1人1泊につき、1000円を助成する。

② 地域公共交通の維持

260万円

新型コロナウイルスの影響で乗客が減少したため、地方バス運行補助金を増額。

③ コミュニティ施設の感染防止対策

90万円

経年劣化により不具合が生じているエアコンの修理。中島コミュニティセンター、蒲池農村環境改善センター。

④ 動物死骸処理時の感染防止対策

100万円

動物死骸処理に利用する軽トラックの購入。



条例改正の主なもの

柳川市子ども医療費の支給に 関する条例及び柳川市重度障 害者医療費の支給に関する条 例の一部改正

市町村が行っている子ども医療費の助成に対し、福岡県が小学生までとしていた補助対象を令和3年度から中学生にまで広げる方針が示され、本市においてもこれまで助成していなかった中学生の外来医療費について助成の対象となるよう、条例改正を行います。
令和3年4月1日施行

・外来（調剤以外）の
子ども医療受給者の自己負担額
【改正前】
中学生 助成なし
【改正後】
中学生 1月あたり上限
1200円

・調剤に係る
子ども医療受給者の自己負担額
【改正前】
中学生 助成なし
【改正後】
中学生 無料

柳川市火災予防条例の 一部改正

「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令」が公布され、電気自動車等の急速充電設備の全出力が、これまでの50キロワットから200キロワットまでに拡大されました。これに伴い、急速充電設備の位置、構造及び管理に関する基準の細目も改正されたことから、本条例の一部についても所要の改正を行います。
令和3年4月1日施行

意見書

防災・減災、国土強 化対策の継続・拡充を 求める意見書

◆趣旨
現在、我が国において、豪雨、河川の氾濫、土砂崩落、地震、高潮、暴風・波浪、豪雪など、自然災害の頻発化・激甚化にさらされています。このような甚

大な自然災害に事前から備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靭化は、一層その重要性を増しており、喫緊の課題となっております。

こうした状況を受け、国においては、重要インフラの緊急点検や過去の災害から得られた知見を踏まえ、国土強靭化を加速化・進化させていくことを目的に、「国土強靭化基本計画」を改訂するとともに、重点化するべきプログラム等を推進するための「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を策定し、集中的に取り組んでいます。その期限が令和3年3月末までとなっております。今後起こりえる大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう防災・減災、国土強靭化には、より一層、十分な予算の安定的かつ継続的な確保が必須です。

意見書を国へ提出

◆結果
本会議において賛成全員で可決されましたので、柳川市議会として国へ意見書を提出することになりました。

人事

農業委員会委員

本市農業委員会委員の任期が令和3年3月21日で満了となるため、後任の委員が提案され、賛成全員で同意しました。



- | | |
|----------------|----|
| 山田 善治 氏 (72歳) | 再任 |
| 高田 一利 氏 (68歳) | 新任 |
| 亀崎 忠治 氏 (68歳) | 再任 |
| 松藤 正之 氏 (74歳) | 再任 |
| 太田 英介 氏 (70歳) | 再任 |
| 柘島 練二 氏 (76歳) | 新任 |
| 吉丸 隆吉 氏 (71歳) | 新任 |
| 大淵 秀樹 氏 (73歳) | 再任 |
| 三小田 由勝 氏 (75歳) | 再任 |
| 藤木 邦彦 氏 (62歳) | 新任 |
| 松藤 和彦 氏 (73歳) | 再任 |
| 松藤 一利 氏 (70歳) | 再任 |
| 田中 満義 氏 (71歳) | 再任 |
| 松藤 政義 氏 (71歳) | 新任 |
| 島添 茂樹 氏 (70歳) | 再任 |
| 河口 隆光 氏 (67歳) | 再任 |
| 園田 清美 氏 (68歳) | 新任 |
| 阿志賀 一喜 氏 (65歳) | 新任 |
| 鐘ヶ江ゆき子 氏 (68歳) | 新任 |





柳川市新型コロナウイルス感染症緊急対策（第1弾～第6弾）経過報告

第1弾

①中小事業者へのがんばる応援金 3億6130万円

国の「持続化給付金」と県の持続化緊急支援金の対象事業者、休業事業者に市が独自に10万円を交付。第2弾により10万円を追加交付。

②子育て家族へのがんばる応援米・応援海苔 1428万円

休校中の家計負担を軽減するため、小中学生に柳川産米と柳川産海苔を配布。



③川下り船頭へのがんばる応援金 400万円

水郷柳川観光おもてなしの最前線で活躍する川下り船頭の離職を防ぐため、船頭さんに応援金を交付。

④感染症拡大防止対策支援 5241万円

医療機関や保育所等の感染拡大防止対策を支援。
 （陰圧式エアートント、消毒液、マスク、非接触式体温計の購入）
 病院、一般診療所、歯科診療所及び薬局へ支援金を交付。
 観光客の感染防止対策等を推進する宿泊及びタクシー・観光バス事業者へ支援金を交付。
 柳川山門医師会及び大牟田医師会により設置された「PCR検査センター」への協力金を負担。

第2弾

⑤ひとり親家庭へのがんばる応援金 2400万円

ひとり親家庭（母子・父子家庭）の家計を支援するため、児童扶養手当を受給中の世帯へ応援金を交付。

⑥高校世代への学習支援 570万円

長期化した休校中の学習を支援するため、高校生（同年齢の者含む）に図書カードを配布。

⑦柳川のがんばる飲食店応援事業 500万円

飲食店や宅配事業を支援するため、WebサイトでのPR、チラシ作成、新聞折込、冊子の作成等。

第3弾

⑧プレミアム商品券（プレミアム率20%）1830万円

プレミアム商品券「柳川藩札」の「プレミアム率アップと発行額の増額」を支援。

⑨柳川観光V字回復キャンペーン 2500万円

観光事業回復のため、コロナ感染症の状況を踏まえ、市内～筑後地区～県内～九州～国内と段階的にターゲットを広げ振興を図る。

⑩ICTによる小中学校の学習支援 4億1615万円

「GIGAスクール構想」の1人1台のタブレット端末の早期実現を図るとともに、導入後の利活用を積極的にサポートを行う。

⑪がんばる商店街やなぼ活用事業 1500万円

おもてなしカード会の「やなぼ」キャンペーンを支援し市内消費拡大を図る。

⑫がんばる飲食店等家賃応援金 2000万円

減収した飲食店・小売店等に対し、緊急事態宣言期間中における家賃応援金を交付。1事業者上限10万円。

⑬妊婦へのがんばる応援 2150万円

妊婦さんが安心して出産を迎えられるよう応援金を交付。

⑭感染症拡大防止対策支援 4611万円

高齢者福祉施設・介護サービス事業所、障がい者(児)入所施設・障がい福祉サービス事業所へ支援金を交付。

小中学校・乳幼児健診等の感染防止対策。学童保育所、保育所の感染防止対策支援。





コロナ対策経過報告

⑮避難所対策 1648万円

災害時の避難所での感染防止のため、パーテーション(間仕切)、テント、マスク、消毒液などを配備。

⑯農産物安定供給支援 1000万円

農産物の販路拡大、販売促進PRを支援。集出荷施設の感染防止対策を支援。

⑰水産物安定供給支援 300万円

水産物の販路拡大、販売促進PRを支援。海苔検査場、海苔入札会場の感染防止対策を支援。

第4弾

⑱小中学校の再開支援 2700万円

学校再開に伴う感染症対策・学習保障を支援。

⑲就学援助(特例分)の支給 304万円

⑳がんばる家賃軽減支援金 6077万円

国・県の家賃支援の対象事業者に対して上乗せして、市の家賃軽減支援金を交付。



㉑子育て支援事業における感染防止 2473万円

オンライン相談等のための機器、消毒液等の購入。
延長保育、病児保育、子育て支援拠点の感染防止経費の補助。
学童保育所の休業等に伴う育成料減免を支援等。

㉒生涯学習施設等における感染防止 180万円

手指消毒液、施設・用具の消毒液、使い捨て手袋等を購入。

㉓救急車等への除染装置の配備 305万円

室内空間と資機材を短時間で消毒するオゾンガス式除染装置を配備。

㉔歴史民俗資料館の空調設備改修 1674万円

第5弾

㉕小中学校支援 2452万円

修学旅行実施時の感染症対策を徹底。学習支援員、スクールサポートスタッフの配置。

㉖がんばる商店街活動支援補助金 699万円

商店街が実施する売上回復の取組や衛生環境の整備を支援。

㉗掘割清掃支援金 192万円

㉘感染拡大防止対策支援 1438万円

保育所の感染防止対策支援。市民文化会館へのサーマルカメラ等の導入。
ウェブ会議システム利用環境整備。

第6弾

㉙インフルエンザ予防接種助成 1210万円

【助成対象者】生後6ヵ月から小学2年生までの児童(2回接種)、妊婦(1回接種)
【助成額】1人1回2千円(児童は2回分を助成)

㉚PayPayと連携した消費喚起キャンペーン 4415万円

【期間】令和3年1月1日~31日
【ポイント付与率】決済金額の20%(1回上限1000円。期間中1万円)

㉛感染拡大防止対策支援 2675万円

確定申告会場、体育館3館施設の感染防止対策。
修学旅行中止の場合のキャンセル料補助。コロナ対策資機材保管庫整備。





12月定例議会で審議した議案

全30議案を可決!



議案名	
予算 決算	令和2年度柳川市一般会計補正予算（第7号）
	令和2年度柳川市一般会計補正予算（第8号）
	令和2年度柳川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	令和2年度柳川市下水道事業会計補正予算（第2号）
条例	柳川市国民健康保険税条例の一部改正
	柳川市子ども医療費の支給に関する条例及び柳川市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正
	所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
	柳川市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく市税の課税免除に関する条例の一部改正
	柳川市火災予防条例の一部改正
その他	市道路線の認定
人事	柳川市農業委員会委員の任命
意見書	防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書

次回定例会の日程（予定）

日時	予定している主な内容
2月24日（水）	開会 提案理由の説明
2月26日（金）	議案質疑
3月2日（火）3日（水）4日（木）	一般質問
3月9日（火）10日（水）	予算審査特別委員会
3月15日（月）	採決・閉会

市議会ホームページから会議日程や議案、会議結果、議会中継（ライブ・録画）などがご覧いただけます。パソコン、スマートフォン、タブレットで視聴可能です。

柳川市議会

検索





やながわの

ここが聞きたい！

※それぞれのQRコード®から、一般質問の録画映像をご覧くださいことができます。

質問者氏名	掲載ページ	質問事項
緒方 寿光	p10	1. 市長3期目の公約「仕事づくり」の取組みと成果は 2. 「豪雨浸水被害」に対する新たな視点での総合対策は 3. 「新型コロナ第3波」への本市の対策は 
橋本 憲之	P11	1. SNS有効活用の進捗状況は 2. 柳川の将来のために (1) ごみ減量の取組みについて (2) 学校再編について (3) 社会体育活動について (4) 財政について 
佐々木創主	p12	1. 佐賀空港へのオスプレイ配備計画 
今村 智子	p13	1. 投票に行きたくなる環境づくりを 2. SNS相談について 
白谷 義隆	p14	1. 消防防災体制の充実強化について (1) 消防防災施設の整備 (2) 消防・救急・救助体制の整備 2. 西鉄柳川駅自由通路上り口の表示について 
新谷信次郎	p15	1. 学校給食調理場の空調設備について (1) 三橋学校給食共同調理場に空調設備設置を (2) 市内小学校給食調理場に空調設備設置を 2. 新型コロナウイルス感染症に対する今後の市の対策について (1) 生活福祉資金特例貸付について (2) 「要保護児童対策地域協議会」について (3) 受験生にPCR検査を (4) 今後の市の基本的な対策の方針について 

※QRコード®のご利用には、スマートフォン等のQRコード®読み取りアプリ等が必要です。
 ※QRコード®は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。





市長3期目公約「新規農産物（特産品）の開発」は



緒方 寿光

問 「成果が見えない」との声は多い。取組みと成果は。

答 農政課長 平成29年から調査研究と試験作を行い、リーフレタスは販売価格の安定を計りながら採算に合うよう支援会議を開催している。小豆は今年度収穫量は10aあたり246kgあり1kgあたり400円で販売できれば10万円程の収量となり今後ブロックローテーションの1品目として検討したい。

問 30年前の農業産出額は100億円を超えていたが現在は50億円前後と低迷している。イグサにかわる特産となる農産物を確立するためにJAと

協議連携し、農業振興ビジョンを確立し、柳川ブランドとして本格的に取組む必要がある。稼げる農業を確立できれば、若手就農者は今以上に増え、雇用も確保できるが。

答 市長 儲かる農業へ向けて、JAと一緒に取組みたい。



リーフレタスの収穫

新型コロナウイルス第3波の対策は

答 健康づくり課長 「マスク着用・手洗い・3密回避」等のチラシを全戸配布し、

公共施設に手洗い励行ポスターを提示し、小中学校へ感染防止イラスト入りのクリアファイル配布を行い啓発する。

問 3500名以上の医療、介護従事者が安価で簡易的なPCR検査を受ける事ができる体制が必要では。

答 健康づくり課長 今後、保健福祉環境事務所や医師会と連携し、協議のうえ検討したい。

問 学習用タブレット端末導入（予算約4億1300万円）後のオンライン授業導入においてインターネット環境整備が必要な家庭への対策は。

答 学校教育課長 端末は1月～2月に納品予定で具体的対策を検討する。

豪雨浸水被害への新たな視点での総合対策は

問 7月豪雨での浸水被害等の発生状況は。

答 水路課長 床上4件、床下116件、道路冠水30

箇所、農地冠水は2496ha。

問 浸水被害対策の重点地域は。

答 水路課長 東宮永地区、両開地区、三橋町五拾町、中島地区の永田開、沖端川流域の矢ヶ部地区や筑紫町等である。

問 毎年の豪雨でアスパラガス等の園芸作物の浸水被害が出る。盛土により施設を高床にする対策が必要では。

答 農政課長 収量等の問題がなければ、今後は高畝式栽培等を検討したい。



7月豪雨による冠水（東宮永地区）



ごみ減量へ頑張ろう



橋本 憲之

ごみ減量への取組みは

問 今年度の可燃ごみの持ち込み量は、

答 廃棄物対策課長 例年とほぼ同量。

問 新ゴミ処理施設稼働後1年間の持込量で建設負担金が決まるが、現時点での建設負担金の試算額は、

答 廃棄物対策課長 柳川市が約59億7千万円、みやま市が約25億3千万円。

問 一円でも負担を減らす為に尚一層の啓発活動が必要。今後の取組みは、

答 廃棄物対策課長 指定ごみ袋価格改定は、可燃ご



みの袋を値上げするが、資源物の袋を値下げすることで「分別するほど得をする」仕組み。これにより分別が進むと期待している。また可燃ごみ袋の名前を「燃やすしかないごみ」とした。これは「分別をしました。水切りもしました。でもこれだけは燃やすしかありません」と言う意味。このメッセージを市民に受け取って頂きたい。その他「資源物常設回収所設置の試行」「事業所用ごみ袋の導入」も検討したい。子供達に分別の啓発をすることも有効ではと考えている。

答 市長 小泉環境大臣が「燃やすしかないごみ」に関心を持ち、直接電話があり、リモート会議を行うことになった。

問 とても素晴らしいネーミング。柳川を売り込めるチャンスとなりそう。このような、お金をかけない斬新なアイデアで、ごみ減量の取組みをお願いしたい。



新デザインごみ袋

SNSの有効活用は

問 市としては、SNSをどう利用するよう計画しているか。

答 企画課長 フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ラインで8種類のアカウントがあり、広報や新聞などとホームページやSNSを組み合わせ発信したい。

問 災害時にはSNSによるリアルタイムでの情報発信が有効的で情報発信も重要な行政サービス。アカウントの積極的PRをお願いしたい。



市で利用しているSNS

学校再編は

問 市として適正規模適正配置化検討委員会を立上げ今年度末には答申が示されると聞いているが、市としての考え方は、

答 教育部長 具体的再編案はないが委員会の答申後、基本方針を策定し学校規模配置を見直すことも考えられる。





佐賀空港へのオスプレイ配備計画



佐々木 創主

問 平成30年8月、山口佐賀県知事がオスプレイの受け入れ表明をした。その後の2年間の動向は。

答 生活環境課長 佐賀県は、受け入れ表明後、佐賀県有明海漁協に受け入れを要請。防衛省は同漁協の全支所で説明会を行い、来春から地権者説明会を行う。

生ぬるい市の姿勢

問 佐賀県と防衛省が合意した「環境保全と補償に関する協議会設置」に柳川市も入れるのか確認したいとしている。

答 生活環境課長 佐賀県は、「佐賀県漁協と合意していないので、柳川市との協議はできない」との回答。防衛省も、佐賀県の意向があるとして返事を貰えなかった。

問 配備となつて柳川市で事故が起こった場合は、佐賀県は関係ない。柳川市と防衛省の問題。何故、防衛省と話しができないのか。市の姿勢は問題。

問 市長は、「市民の安心・安全が確保できるのか」が受け入れの是非の判断材料としていた。4年経過し確認できたか。



答 市長 万が一の場合は、国家賠償法で補償される。それで、確認できた事になるのか。

問 市長 前進はない。木更津暫定配備で5年間動かない。

問 木更津の飛行コース自治体の補償など調査しているのか。

答 市長 これからしたい。

問 認識が甘い。防衛省は、佐賀県西南部の漁協5支所に、100億円基金とは別に、漁港浚渫、海苔漁業支援など振興策を提案した。柳川市には。

答 生活環境課長 提案はない。



オスプレイ

問 空港から10km離れた鹿島市など西南部は危険性はない。飛行コースの柳川市が何故声を上げないのか。

相手は佐賀県か 防衛省か

問 水面下では地権者との価格交渉があると思われる。来春、事が進む可能性もある。配備が決まり柳川で問題が起こった場合、相手は佐賀県ではなく防衛省。柳川市が納得できるだけの条件を防衛省と直接交渉すべき。

答 市長 防衛省・佐賀県・漁協の関係を注視し、市民の安全安心をどう担保するのかという中で、条件闘争にはいるべきでない。

問 何の恩恵もなく、柳川市民が危険な空を眺めながら生活することの無いよう取り組みを。



自殺者ゼロをめざして



今村 智子

SNS相談について

問 2019年全国で自殺者数は2万169人。特に

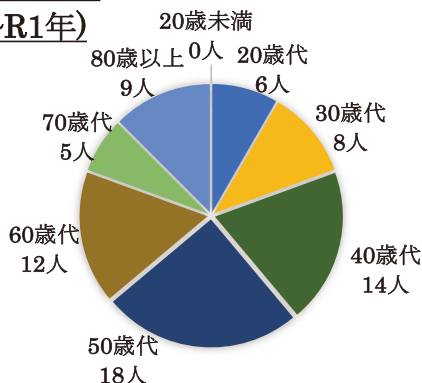
若者の自殺者が増加傾向にあり、国は啓発活動を推進。LINEなどSNSを活用した相談窓口が広がっている。

本市で、これまでに自殺に関する相談を受けたことはあるか。

答 福祉課長 平均して年に約1〜2件、メールで相談を受けた。

問 学校関係で、いじめ・自殺相談に対する相談体制は。

年代別自殺者数 (H27~R1年)



本市における過去5年間の自殺者数とその年代別

柳川市内の自殺者数	
H27年	14人
H28年	14人
H29年	9人
H30年	19人
R1年	16人
合計	72人

答 学校教育課長 市内の小中学校では毎月1度、いじめに関するアンケートを実施。



SNS心の相談

受付時間

午後5時～午後10時30分
(水曜日を除く平日と日曜日)

午前11時～午後4時30分
(水曜日)

専用のホームページ



福祉課長 幅広い相談を受けられる側のスキルと専門性の確保など対応できる相談体制整備の課題があり、市独自のSNS相談は困難。本市HPにもあるメンタルチェックシステム「こころの体温計」を活用したり、国や県など各種相談窓口への周知徹底に努めていく。

答 学校教育課長 SNS利用の相談体制を市独自で準備することは難しいが、相談窓口等の情報提供を児童生徒に行っていく。

問 SNSの相談窓口は相談内容を周囲に聞かれず、場所を選ぶ必要がなく気軽に相談できる。いじめ・自殺防止対策等に使われているが、本市でもSNS相談を導入する考えはあるか。

答 選挙管理委員会事務局長 若者を投票立会人にするには選挙や政治に関わる絶好の機会になると思う。今後、研究・検討していく。

投票に行きたくなる環境づくりを

問 若年層の投票率は低い状況にあり、選挙啓発の取り組みは重要だ。本市でも若年層への啓発活動をしているが「若年層の選挙立会人の募集等」という取り組みについてはどう思うか。

答 選挙管理委員会事務局長 「柳川庁舎での期日前投票所を1階でできないか」との市民のご要望に対し、「庁舎以外の施設も含めて検討したい」と以前答弁された。そこで市民文化会館を期日前投票所にできないのか。

答 選挙管理委員会事務局長 市民文化会館は文化芸術の拠点となる施設。選挙の為に長時間の占有をするのは市民活動の妨げにもなり、選挙事務の大幅な見直しが必要となり慎重にならざるを得ない。





本市の消防防災体制は



白谷 義隆

問 本市の消防防災施設の整備の現状と今後の計画は。

答 消防本部総務課長 消防本部本署は、車両15台、東部出張所は車両4台。消防団は、1本部20分団で構成、格納庫35力所、車両は消防ポンプ車など計43台。消防車両の更新は、消防本部で今年度放水塔付13mブーム付ポンプ車を納車予定、消防団では今年度ポンプ車2台、来年度ポンプ車と可搬積載車1台ずつ更新予定。消防団格納庫は、今年度第10分団格納庫を整備、来年度から11分団2力所の格納庫を統合整備予定。



答 総務課長 災害時倉庫は、市内に6力所ある水防倉庫の一部を統廃合し六合防災ステーション内に水防倉庫を整備計画。

問 災害から住民を守るには消防防災施設の整備と共に消防・救急等の人的な体制の充実が求められる。本市消防本部の消防・救急・救助体制は。

答 消防署長 消防本部の職員は82人で64人が常時24時間交代制。本署で14人、16人、東部出張所で6人、

7人が24時間勤務。災害対応車両は、本署で、指揮車1台、消防ポンプ車3台、救助工作車1台、救急車3台。東部出張所では、消防ポンプ車2台、救急車1台。

問 消防庁が示している整備指針に基づく本市の体制は。

答 消防署長 整備指針は、消防車両や職員数等の整備水準を示したもので、それに基づく本市の職員数は111人。現在の職員数は82人で充足率は73.9%。

問 福岡市の充足率は94%、北九州市は94.7%と都市部に近い消防本部は90%を超えている。本市は都市部に比べればかなりの人不足にある。住む自治体によって、災害時、助けられる命と助けられない命があつていいはずはない。本市の消防防災体制について市長の見解は。

答 消防長 住民の安全安心を増進できるよう計画的にハード・ソフト面の整備を図っていく必要がある。

柳川駅自由通路の上り口に「西口」「東口」の表示を

問 自由通路の上り口に「西口」「東口」の表示をとる市民要望があるが。

答 都市計画課長 現在進めている柳川駅周辺整備に合わせ、駅周辺の案内図を設置予定。その中で対応。



西鉄柳川駅自由通路の上り口



三橋給食調理場に空調設置を

課長 できるだけ早く設置する



新谷 信次郎

問

三橋学校給食共同調理場の室温・湿度の状況及び熱中症の状況について三橋調理場に出向き、聞き取りと記録の調査をした。7月28日午前11時の調理室、気温31℃湿度87%熱中症により2名通院。30日32℃73%1名早退。熱中症者が出たことを受けて31日教育委員会が冷却ベスト配布。8月25日36℃46%1名早退28日32℃66%1名救急車で搬送。三橋調理場における熱中症者については教育委員会、教育長は報告を受けているか。

答

学校教育課長 教育委員会として、三橋調理場において発生した熱中症患者1名、また早退者の一部に疲労など体調がすぐれず早退した方がいるとの報告は受けている。教育長へも逐一報告をしている。

問

「労働安全衛生法」には「健康障害を防止するために必要な措置を講じなければならない」とあり、その具体例の中には「高温による健康障害」にふれている。三橋調理場の実態は、法令違反ではないか。

答

学校教育課長 三橋調理場については、スポットクーラーや冷却ベストの購入など、できる限りの健康障害を防止するための必要な措置を講じている。この1名の方の熱中症の発生について、直ちに法令違反にあたることは考えていない。



三橋学校給食共同調理場

問

スポットクーラーや冷却ベストの対策でも熱中症者が出ているから「熱中症が防止される対策」になっていないのではないか。

答

学校教育課長 直ちに空調設置をするのは不可能だ。給食を止める以外に方法はない。空調については十分認識をしているので今後設置に向けて検討していきたい。

問

「今後空調設備の設置も含めた改修の方法を検討していく」と先送りされてきたため

に、毎年「熱中症者」が出ている。「空調設置」を最優先対策として来年度にでも設置できないか。

答

学校教育課長 近年の夏の高温を考慮すれば待ったなしの状況。全体的な改修計画が必要だが空調を先に整備する方向も考えなければならぬ。設置の時期はこれからの協議だが、できるだけ早い時期に設置するように検討する。



蒲池小学校給食調理場





「琴奨菊とのふれあい」 琴奨菊関の母校である本校で、子どもたちとふれあいの機会がありました。これまでの健闘をたたえ、各学級で趣向を凝らしたメッセージを伝えました。「夢を持ってあきらめずに」との言葉をいただきました。



東宮永小学校

「縦割り大縄大会」 昼休みに縦割りで練習してきた成果を出し合いました。上学年が優しく下学年をサポートしてくれていました。

六合小学校



「プログラミング学習」 本年度より新学習指導要領が完全実施となり、総合的な学習の時間で、3～6年生はプログラミングの学習をしています。



「スポーツフェスタ」 11月14日の土曜授業で「スポーツフェスタ」を行いました。その中で、新型コロナウイルス対策の3密を心がけ、少ない人数で全員が手袋をして、縦割り対抗の綱引きを頑張りました。



「スポーツ集会」 校歌あり、コッポリーダンスあり、縦割り競技ありの「スポーツ集会」は、「なかしまっ子」が一致団結してつくりあげた素晴らしい集会となりました。



中島小学校

「感謝の修学旅行」 コロナ禍の下で実現できた修学旅行は、「感謝の修学旅行」でした。平和祈念像の前で行った平和集会では、千羽鶴を捧げ、谷川俊太郎の詩「生きる」を群読し、平和の尊さを学ぶスタートとなりました。

編集後記

この55号から編集委員会は新体制でスタートします。議会と市民の皆さんをつなぐ広報の重要な役割を果たせるよう、新たな編集委員一同がんばります。

今号から各議員一般質問事項にQRコードを付けました。このQRコードから各議員の一般質問録画像につながります。一般質問の場面をリアルにご覧いただけるよう工夫しました。

2021年は新型コロナウイルス感染症第3波との闘いで幕が開けました。今後も予想される厳しい状況を市民のみなさまと共に乗り越え、柳川市の活気あふれる未来が切り開かれますように祈ってやみません。

(新谷 信次郎)

広報編集特別委員会

委員長	新谷信次郎
副委員長	今村 智子
委員	緒方 寿光
〃	高田千壽輝
〃	菊次 太丸
〃	佐藤 勝広